

沢ガニがいた！

真光寺川を清流にする会
世話人 山口 拓郎

和光・鶴小4年生の「真光寺川研究」の総仕上げとして源流探検が実施された。真光寺川には数カ所源流があるが、電源開発・変電所下の源流は最も源流らしい場所で人気も高い。その一番奥深い「最初の一滴」が見られる湿地帯に沢ガニが群棲していた。これまで何度となく訪れたが沢ガニが発見されたのは初めてのことであった。以前、鶴二小に勤務されていたT副校長は川について造詣の深い方だった。「真光寺川には沢ガニがいそうな気がして探しているのですよ」とおっしゃっていた。早速、百科事典で調べて見た。「沢ガニは水のきれいな溪流・沢に棲息するので、水質階級Ⅰ（きれいな水）の指標生物となっている」とあった。T副校長が沢ガニを探していた訳をようやく納得することができうれしかった。

〔11月〕

11月7日（水）和光鶴小・出前講座等
午前中、「真光寺川の今昔」について話を
する。質問が次々ありうれしかった。驚い
たのは子ども達が話を聞きながらそのポイ
ントを要領良くまとめていたことだ。帰り
際にコピーを頂くことができた。まるで大
学生みたいだと驚嘆した。

午後から山本、黒田、桜井さんと里親通
信の印刷。学校等に配布する。

夕方、魚民で一木会。川の水質度を棲息
生物から測定する方法等につき議論する。

11月10日（土）鶴二小・展示会見学

招待状を頂いた。生憎、朝から冷たい雨
が降っていたが思いきって出かける。体育
館が会場だった。一步足を踏み入れて驚い
た。色彩の洪水だ。別世界に迷いこんだよ
うな目眩を覚えた。今の子ども達は絵画、
音楽等感性に優れている。場内は見学の父
兄の熱気で溢れていた。

11月11日（日）清掃作業

平和台の久山さんが新たに参加される。
前日の雨で水嵩が増しており作業は難渋す
る。それでもかなりの量のゴミを収穫する。
終了後、いちよう会館で反省会。

11月14日（水）和光鶴小、源流探検
朝から抜けるような青空が広がっていた。
10時、正門前に4年2組、30数名が集
合する。山本さんが先導して桜井さんと私
がしんがりにつき電源開発・変電所下の源
流を目指す。前日までの雨で地面は軟弱に

なっていた。藪をかき分けて進む。子ど
達は湿地に足を取られて泥だらけだ。それ
が嬉しいらしく遮二無二に突き進む。よう
やく源流に辿り着く。泥中に棲息する沢ガ
ニを発見、子ども達の興奮は頂点に達する。

引き続き窪平の源流を探検する。子ども
達は実際に検分し予め用意した「仮説」を
確かめていた。12時、捕獲した沢ガニを
土産に意気揚々と引き揚げた。

11月15日（木）水サンプル採集

6時前に家を出る。夜が白々と明け初め
風が頬に快い。太陽に向かって歩く。



源流探検出発



沢ガニも捕れた！

しただ橋の小公園で淀さんが落葉かきをさ
れていた。広袴公園では池の中の楊に数羽
のサギが群れてていた。8時過ぎに帰宅、
松前さんにお渡しして一息つく。

11月17日（土）鶴二小・学会

招待状を頂いた。午前、会場の体育館へ
向かう。2年生が熱演中。竜宮城を訪れた
浦島太郎が乙姫様や魚達の手厚い歓迎を受
けている。合唱そして群舞、劇は交叉する
光の中でテンポよく進行する。父兄は子ど
も達の演技に熱い拍手を送っていた。

〔12月〕

12月4日（火）旧い漁法の問合せ

市民大学の影山さんから問合せがある。
「友人（和光大学・大学院生）が昔の漁
法を研究しているが何か参考になる資料は
ないでしょうか」1月度例会で神奈川県内
水面研究所を見学に行き参考になるかもし
れないと伝える。同伴することになった。

12月5日（水）里親通信・印刷配布

14時から鶴川支所で山本、黒田、桜井さ
んと里親通信の印刷、配布。16時30分
に終了する。18時から魚民で一木会、忘
年会を兼ねて盛り上がる。

12月9日（日）清掃作業

快晴。クレイン・ライオンズクラブの方
々が8名参加される。市会議員の市川さん
を通じてお話があり懸案となっていた。
11時30分、作業終了。記念写真を撮る。

12月11日（火）鶴三小からメダカ基金

5年生の児童が基金を届けて下さる。「真
光寺川まつりで葉を売ったお金の一部です」
と手紙が添えられていた。

12月14日（金）ごみフェスタ感想文

鶴三小・4年生、60名が「町田ごみフ
ェスタ2007」に参加しごみ問題の研究
成果を発表した。その感想文が届けられる。
和光鶴小の感想文と併せて報告書に編集す
ることにする。

12月20日（木）水サンプル採集

夜明けが遅い。薄明の中、6時40分に家
を出る。下堰親水から開戸親水に向かう途
中、真向かいにタライのような太陽が昇つ

てくるのが見られた。開戸親水では精進場
橋のあたりに多くの鳥が群れているのが望
見された。いつものように4カ所で採集し
9時前帰宅。

〔1月〕

1月1日（火）元旦

能ヶ谷神社で破魔矢やお札頒布のために
徹夜した。元旦の空は澄みわたり美しい初
日の出が見られた。杜の高みから眼下に真
光寺川が輝いているのが見えた。何か新し
いことが始まりそうな予感を覚えた。

1月8日（火）内水面試験所見学

1月は水が冷たく清掃作業が出来ない。施
設見学をすることになっている。今年は相
模川沿いの内水面試験所が選択された。稀
少淡水魚の保護・増殖を目的とした神奈川
県の施設である。

9時20分、ユニクロの駐車場に集合、和
光大学院のKさんも参加する。3台の車に
分乗してスタートする。淵野辺駅で松尾、
山内さんが加わり同勢14名となる。

10時30分、試験所到着。主任研究員の
勝呂さんから稀少淡水魚の保護飼育の状況
聞き、引き続き場内を案内してもらう。
ワカサギ、ヤマメ、ミヤコタナゴ、ホトケ
ドジョウ、メダカ等が飼育されている。同
じメダカでも遺伝子により厳密に水系の分
類がされており大変興味深かった。

13時、近くの「相模川清流の里」で会食
14時、帰途に着く。

1月16日（水）「対話」協力の要請

鶴三小の横山先生から、児童が地域を知る
試みとして月2回程度の「対話」に協力し
てほしいとの要請があった。お役にた
つことならばと快諾。
後日、生江、山本さんにも協力してもらえ
ることになった旨連絡する。

1月18日（金）出前講座の要請

町田一中の三木先生から電話。1年生を
対象に出前講座をしてほしいとのこと。7
クラスあり他に消防団、市役所ごみ回収課、
障害者施設等に要請しているようだ。面
白い試みだ。「川は生きている！」という
テーマでお話することを約束する。

（この項おわり）